

令和8年度 教育目標・学校経営方針

《学校の教育目標》

『自律する力を身に付けた、社会や地域に貢献する人材（区民）を育成する』
○すすんで学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○たくましい生徒
「落ち着いた品位のある学校」「大人（社会人）になるための学校」

《学校経営の基本理念》

- ①法令等を遵守し、教育計画に基づいた「組織的・計画的な学校経営」を行う。
- ②品川コミュニティ・スクールとして、地域の輪を大切に「地域とともに生徒を育てる学校経営」を行う。
- ③PDCA サイクルを活用し、教育課程や学校評価について「開かれた学校経営」を行う。
- ④課題発見と問題解決の意識を高くして「改善の機を見逃さない学校経営」を行う。

《目指す理想像》

1. 目指す学校像

- ①生徒が豊かな人間関係の中で、自他の成長を実感できる学校
- ②保護者と地域の願いや期待を受けとめ、その実現に努める学校
- ③教職員が指導力向上を目指し、生徒の手本となり常に学び続ける学校
- ④生徒、保護者、地域、教職員が互いを尊重し、信頼関係で結ばれている品川コミュニティ・スクール
- ⑤施設の安全管理、生徒や教職員の健康管理や心のケアが行き届き、みんなが安心・安全・快適に生活できる学校

2. 目指す生徒像

「知・徳・体」の調和がとれた自律できる生徒

- ①自ら課題を発見し、解決のために探求する「進んで学ぶ生徒」
- ②礼儀を身に付け、他者を理解する気持ちを大切にする「心豊かな生徒」
- ③日々心身を鍛え、自分の目標を達成しようとする「たくましい生徒」

<期待する姿>

- 学習・行事・部活動など、様々な学校生活を通して仲間と切磋琢磨していこうとする「挑む」心の成長
- 人とのかかわりの中で自分の良さを発見し、自分の目標実現のためさらに良さを伸ばしていこうとする「拓く」心の成長
- 仲間と集団活動に取り組む中で生まれる協力・共感や、地域の協力によりできた学びに対して地域に貢献して返そうとする感謝の気持ちなど「和」の心の成長

3. 目指す教職員像

- ①教育公務員としての自覚をもち、生徒一人一人の成長を願う教職員
- ②地域を理解し、地域の方々と協力しながら教育活動に取り組む教職員
- ③ライフ・ワークバランスを大切にし、自己研鑽を続ける教職員

《令和8年度の目標と重点取組》

1. 誰一人取り残されることなく、一人一人のもつ可能性を引き出す学びの実現

- ①生徒の誰もが「主体的に参加できる場面」があり、「身に付いたことが実感」できるという授業を行うために、指導方法の工夫・改善に取り組む。
- ②「個別最適な学習」と「協働的な学習」を実現するために、タブレット等のICT機器を授業の中で活用していく。
- ③学力調査の結果を分析し、指導方法の工夫・改善と基礎学力の定着に生かす。

2. 校則の合理的な見直しの継続

- ①校則について合理的な根拠に基づいた見直しを継続していく。
- ②校則やルールの見直しについては、生徒同士で話し合う機会を作りながら、学校全体でルールについて考えていく環境を整える。

3. 安全管理の徹底

- ①校舎をいつまでも、きれいに気持ちよく使えるよう美化活動を進める。また、施設設備の整備点検を行い、安全・安心な学校を目指す。
- ②一般的な感染防止対策として、新型コロナウイルス感染防止のために身に付けてきた「手洗い」「うがい」「喚起」を継続指導する。

4. 危機管理の徹底と働き方改革の推進

- ①計画的・継続的な服務研修を実施し、教員による服務事故防止に取り組む。
- ②教育の質を落とさず、教職員の時間外勤務の削減を進めていく。

5. 標準服変更の効果検証（性別に関係なく、生徒が選べる標準服）

- 令和5年度新入生より変更した標準服について、効果検証を継続する。

6. 市民科学習活動（学校・学年行事）の精選と充実

- ①分掌部会や学年会で、PDCAサイクルによる行事の精選と系統的な実施計画の作成を行う。
- ②ESD教育（持続可能な開発のための教育）においては、多面的・総合的に考える力、未来像を予測して計画を立てる力、コミュニケーションの力を育成していく。